



台湾のスターに感謝



久原 大輝

黒鷲旗（全日本男女選抜大会）

準々決勝の東レ戦。陳建禎選手は敗戦をコート上で迎えた。実は1週間前のゲーム練習時に、左足首を捻挫していた。捻挫はバレーボ



陳選手（後列左から4人目）と最後の集合写真（3日）

ール人生で初めてだったらしく、あまりの痛さにもん絶している姿を私は審判台から目撃した。

普段は誰からも愛される優しい陳選手。「黒鷲旗は意地でも出る」と勝負師の表情で懸命にリハビリに励んでいた。欲を言うならば、最後にスパイクを一本でも打つ姿を見たかったが、コート上でプレーしている姿を、私は必死になってカメラのシャッターを切った。

今季は若手の台頭もあって出場機会が少なかったが、試合に向かう準備を決して怠ることはなかった。台湾では国民的スターだが、普段は偉ぶる姿は全く見せず、先輩や後輩から好かれていた。優しい笑顔と安定したプレーで、3年間チームに大きく貢献してくれた。

コロナが落ち着いたら陳さんの故郷、台湾の高雄に「遊びに来て！」とお誘いを受けたので、その時を楽しみにしておく。陳選手、今までありがとう。

（JT広島マネジャー）